

文化政策と制作現場のつながりを考える

公共劇場が行う事業は政府や自治体の文化政策とつながっている(つながっている”はず”、つながっている”べき”)と頭ではわかっていながら、それを直接的に実感できる機会や、しっかりと考える機会は少ないのではないのでしょうか。シリーズ「文化政策と制作現場のつながりを考える」では、国や自治体で文化政策とともに文化事業を担当している方、民間企業や公共劇場にて行政と折衝を行いながら事業を進めている方をお招きし、文化政策と制作現場のつながりを考えます。

<第1回> 8月29日(火) 「2020年以降の文化政策の在り方」

堀口昭仁 氏 (文化庁 長官官房政策課 文化プログラム推進室 専門職)

<第2回> 9月13日(水) 「地方自治体において文化政策を進めるということ」

高橋寛秀 氏 (豊島区 文化商工部 文化デザイン課 文化施策担当係長)

<第3回> 9月26日(火) 「芸術分野における民間企業が持つ公共性」

佐藤麻紀子 氏 (森ビル株式会社 都市政策企画室 観光庁 国際観光課出向)

<第4回> 10月20日(金) 「住民とともに創る劇場」

松井憲太郎 氏 (富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ 館長)

聞き手 綿江彰禪 氏 (一般社団法人 芸術と創造 代表理事)

【時間】 各回 19時～21時

【会場】 第1回～第3回：東京芸術劇場 ギャラリー2 (5階)

第4回：東京芸術劇場 リハーサルルーム M1 (地下2階)

【料金】 無料 ※4回連続のご参加をお勧めしますが、1回ごとのご参加も可能です。

【定員】 各回 40名 (先着順・要事前申込)

【お申込み】 件名「レクチャーシリーズ参加」とし、本文に①～⑤をご記入の上

seminar@geigeki.jp までメール送信してください。

- ①氏名(ふりがな) ②ご所属(もしあれば) ③参加ご希望の回 ④当日連絡用の電話番号
⑤メールアドレス

※こちらからの返信をもってご予約完了となります。 ※内容は変更になる場合があります。
※お申込み時にいただく個人情報は、本講座以外の目的には使用いたしません。

受講にあたり、手話通訳やUDトークによる文字支援をご希望の方は、各回開催の10日前までに、その旨を明記の上、お申込みください。

【お問合せ】 東京芸術劇場 事業企画課 人材育成担当 03(5391)2116 <http://www.geigeki.jp/>

主催：アーツカウンシル東京／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 企画協力：一般社団法人 芸術と創造



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

平成 29 年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

